

校長室の窓から

【NO.19】

“確かな育ち”を…!



3月8日の2時間目の休み時間のこと、校庭の側溝が砂でいっぱいになり、砂と石を分けて草取りをしていたら、1年生のステキなマスクをした女の子ともう一人の子が「お手伝いします」

と、また、声をかけてくれました。

「手が汚れるから…」と言うと

「これ、貸して!」と、草刈り鎌で草取りを

【ただひたすらに】 手伝ってくれました。

他に2人の子も来て、一緒に手伝ってくれて、とても助かりました。

また、サッカーをしていた5年生の男の子も「手伝うよ」と言って、なんと素手でぬれた砂を両手ですくって集めてバケツに入れる作業をしてくれました。

「もうすぐ6年生になるし、慣れてるから!」

と言っていました。とても感心しました。

「教室に入るときは、手をよく洗ってね」

と言っておきましたが、素手での作業にはびっくりしました。

庁務の先生がとてもうれしそうに話してくださいました。

登校の時、班長と思われる上級生が、班長旗を車に見えるように手で広げて、しっかりとかけ、下級生を車から守るようにして登校させていました。

その児童の姿を何度か見かけましたが、いつも同じようにしている姿を見て、感動しました。

先生方にも、ぜひその姿を知ってほしいと思って学校に電話をしました。

地域の方から、心温まるお電話をいただきました。

子どもたちの“よさ”を、みんなで共有し合えてうれしい限りです。

工夫して、心をこめて、 「6年生を送る会」!!



【進行する新三役】



【1年生】



【2年生】



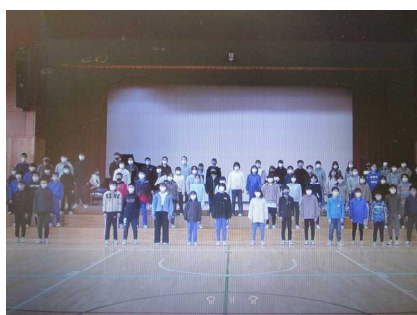
【3年生】



【4年生】



【5年生】



【6年生のビデオ】



【心を込めて見送り】

「新型コロナウイルスの影響で、ぼくたちは、卒業式に出られないけど、今日、6年生への気持ちを伝えたいです」



【5年生作ステージバック】から6年生からのビデオメッセージを受け取りました。

各学年の出し物も大変工夫されており、6年生の旅立つ想いと引き継ぐ5年生の意気込み、1～5年生の6年生への“たくさんのありがとう”、心温まるとてもステキな時間でした。

【文責：田中寿一】